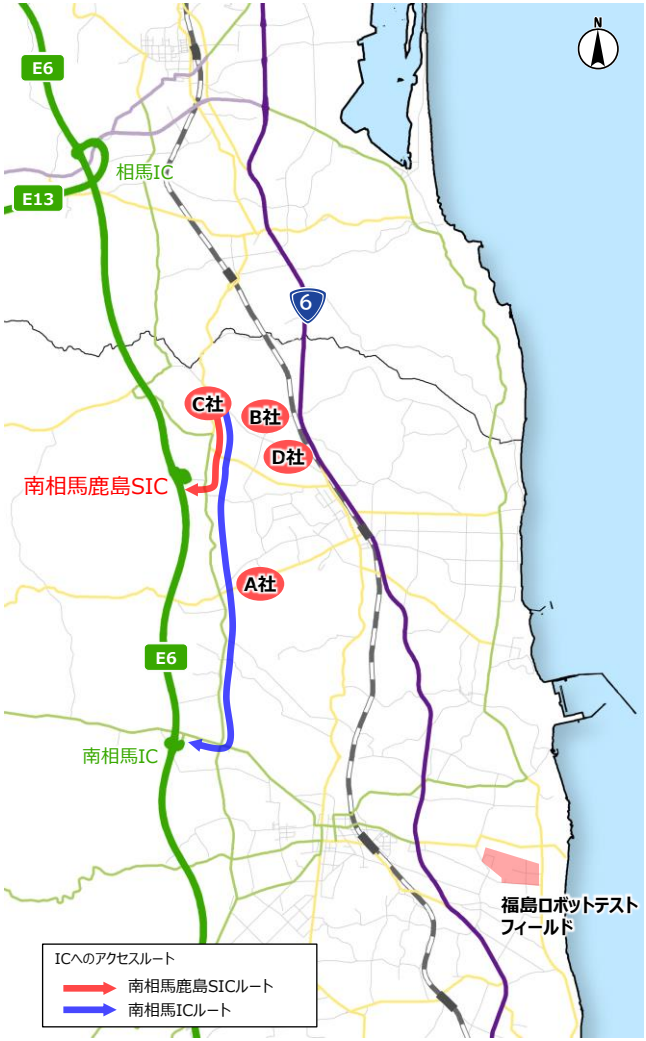
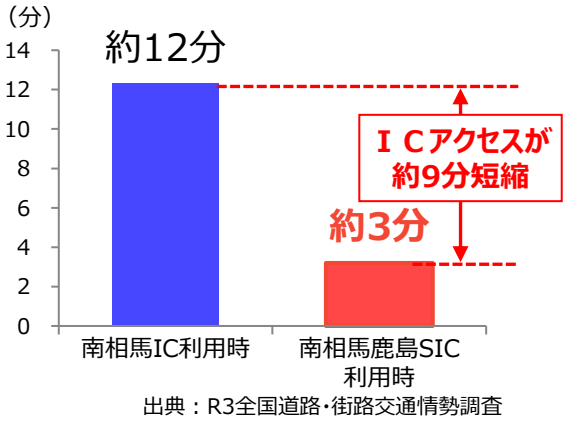
南相馬鹿島SICの整備効果 【地域産業の活性化を支援】

・南相馬鹿島SIC周辺企業では、出張、入出荷などの際に深夜・早朝の利用となる場合があり、24時間運用前は近隣ICまで迂回しなければならず不便な状況だった。
・24時間運用により近隣ICに迂回する必要が無くなり、**ICアクセスが9分短縮**したことで出張や入出荷などの利便性が向上。
・福島ロボットテストフィールド利用者のうち、南相馬鹿島SIC利用者は**約2割**であり、**南相馬市以北地域**との移動に利用。

▼南相馬鹿島SIC周辺立地企業から
南相馬鹿島SICへのアクセスルート

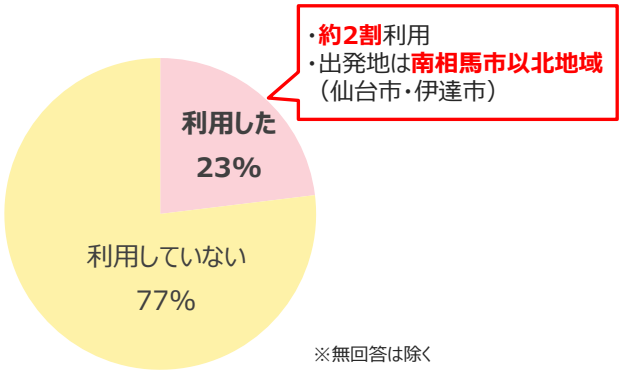


▼ICアクセス所要時間の変化
[南相馬鹿島SIC周辺立地企業（C社の場合）]



出典：R3全国道路・街路交通情勢調査

▼福島ロボットテストフィールド利用者の
南相馬鹿島SIC利用有無（自動車利用のみ）



※無回答は除く

出典：R6年度福島ロボットテストフィールド利用者を
対象とした南相馬鹿島SICの利用に関するアンケート調査結果

○仙台や東京方面から視察や研修に来る方は常磐道で移動してくるため、セデッテ鹿島で食事をしてから鹿島工場に来ており、帰りもセデッテかしまに立ち寄り、仙台や本社へ戻る。今後は、**視察や研修が増えていく予定**である。（A社：業務用機械器具製造業）

○**出荷トラックの80%が利用**している。時間制限を忘れており、出られないことがあったが、時間制限が撤廃されたことにより、時間を気にする必要が無くなった。今後、**南相馬鹿島SIC利用の拡大を検討**している。（B社：生産用機械器具製造業）

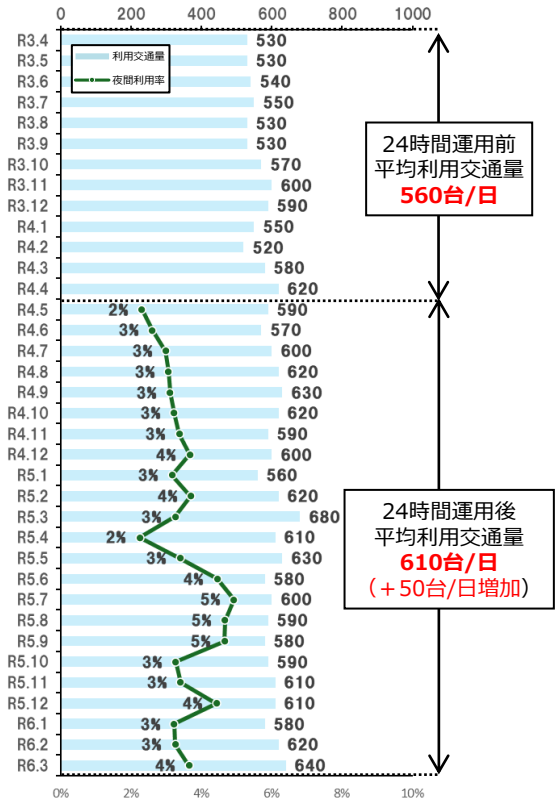
○緊急工事（災害や加害）が発生した場合、**夜間利用ができず、近隣ICを利用**し、通常より到着時間がかかっていた。夜間利用が可能となったことで、**緊急時の所要時間が短縮**された。今後、大規模工事で栃木や関西からの管外支援が増える予定であり、支援の方には、南相馬鹿島SICを勧める予定。（C社：南相馬市設備工事業）

○仙台花卉市場や仙台方面の農家に野菜苗を出荷する際は、南相馬鹿島SICを利用しており、出荷最盛期は月5台程度が利用。出荷量が増えれば、**南相馬鹿島SICの利用も拡大**する。会社から南相馬鹿島SICまでが近いので便利であり、同場所へ往復納品する時は、**時間短縮が**できる。
（D社：南相馬市農業関連企業）

南相馬鹿島SICの整備効果 【住民の地域間移動の支援】

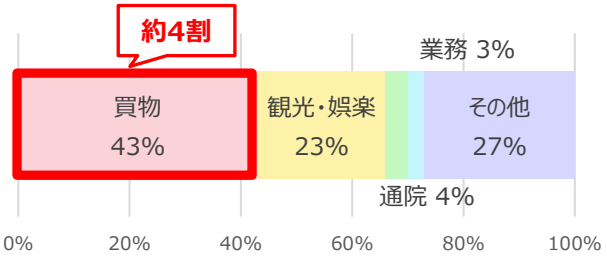
・南相馬鹿島SICの24時間運用後平均利用交通量は610台/日で、24時間運用前平均利用交通量より約50台/日増加。
・南相馬鹿島SICの利用目的は買物が約4割であり、行き先はイオンモール名取がある名取中央SICが最も多い。
・24時間運用化によって、利用が多い宮城県以北等の遠距離移動時の出発・帰宅時間を制限されることが無くなり、利便性が向上した。（約6割が便利さを実感）

▼南相馬鹿島SICの利用交通量



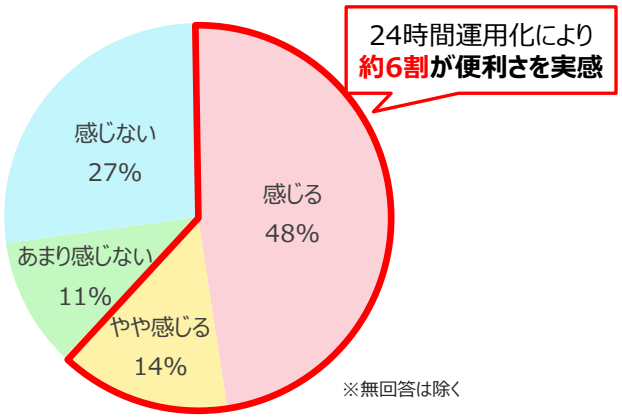
出典：NEXCO東日本

▼南相馬鹿島SICの利用目的



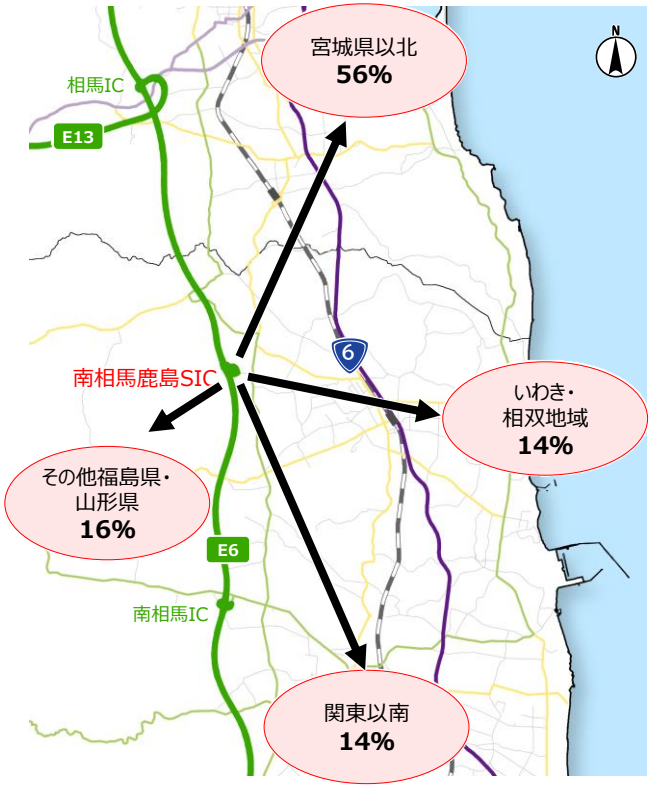
出典：R6年度南相馬鹿島SICの利用に関するアンケート調査結果

▼24時間運用化による便利さ



出典：R6年度南相馬鹿島SICの利用に関するアンケート調査結果

▼南相馬鹿島SICの利用状況



	割合	出発・到着IC	主な行先
第1位	18%	名取中央SIC	イオンモール名取
第2位	17%	長町IC	仙台市
第3位	9%	霊山IC	福島市・伊達市
第4位	6%	仙台空港IC	イオンモール名取・仙台空港
第5位	4%	いわき中央IC	いわき市

出典：R6年度南相馬鹿島SICの利用に関するアンケート調査結果

○時間の制限がなくなった点で**気持ちにゆとりができた**。（女性・60代）
○24時間運用後は出発や帰着時間を気にすることなく、**予定や計画が立てやすくなった**。（男性・40代）
○時間帯を気にせず、**混雑する南相馬ICを避けて**流出できる。（男性・40代）
○早朝の利用ができるようになり、原町や相馬まで移動しなくて良くなった。（女性・50代）

（R6年度南相馬鹿島SICの利用に関するアンケート調査）

南相馬鹿島SICの整備効果 【救急救命活動の支援】

・南相馬市鹿島区で発生した救急搬送では、南相馬鹿島SICの利用が約6年間（R1～R6年度）で52件。そのうち、24時間運用化以降の夜間（22:00～6:00）救急搬送件数では5件。
・24時間運用前の夜間救急搬送時は、一般道を利用しなければならなかった。
・南相馬鹿島SICの24時間運用により、夜間の救急搬送時間が約4分短縮し、救命活動を支援。

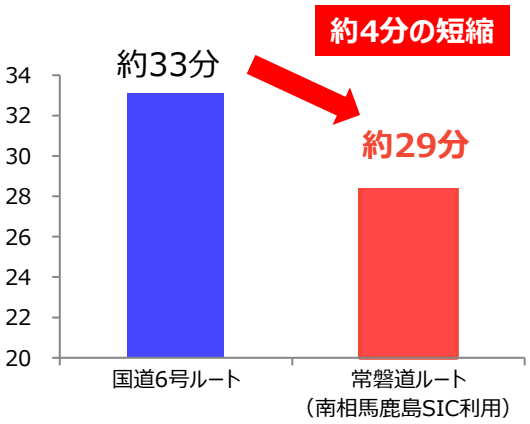
▼南相馬鹿島ＳＩＣを利用した救急搬送件数の内訳（R1～R6年度）

到着市町	件数（夜間利用）	主な搬送先病院（夜間利用ありは太字）
福島市	15	福島県立医科大学附属病院
相馬市	10 (1)	**公立相馬総合病院**
仙台市	8 (2)	**東北医科薬科大学** 等
新地町	7 (1)	**渡辺病院**
その他	12 (1)	南相馬市立総合病院 **双葉医療センター** 等
合計	52 (5)	-

出典：南相馬消防本部鹿島分署

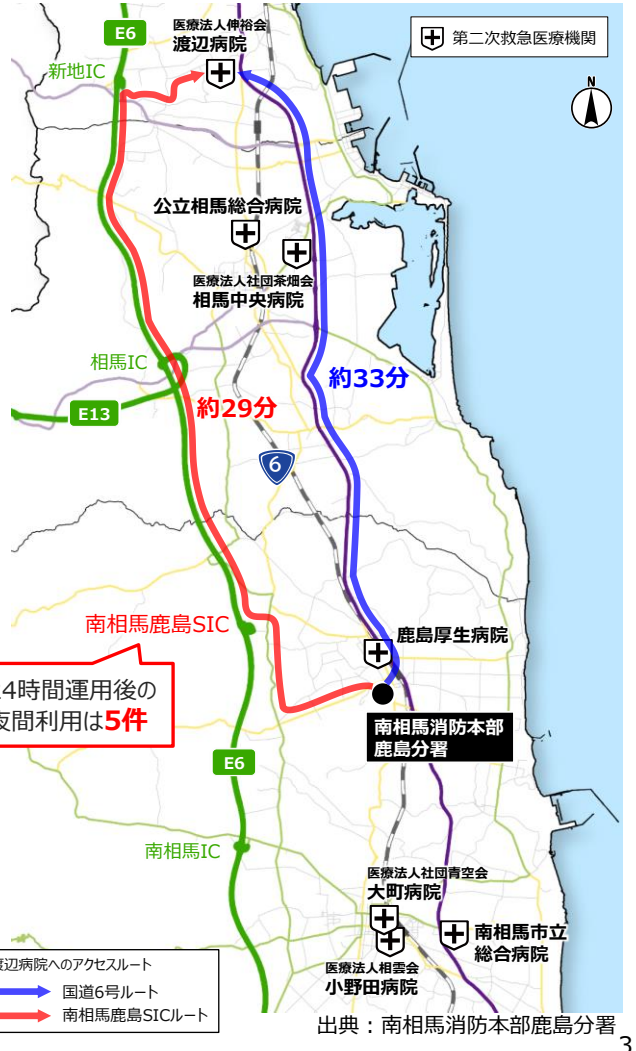
【渡辺病院への夜間搬送事例】
発生年月日：令和5年3月15日2:38
傷病者情報：91歳女性
搬送理由　：南相馬市内及び相馬市内の医療機関が整形外科対応できず収容不能のため整形外科対応可能な医療機関へ搬送したもの。

▼南相馬鹿島区から渡辺病院への所要時間



出典：R3全国道路・街路交通情勢調査

▼第二次救急医療機関の立地状況・渡辺病院へのアクセスルート



出典：南相馬消防本部鹿島分署

○救急搬送における**南相馬鹿島SICの利用は年々増加**している。相馬広域管内では主に公立相馬総合病院、渡辺病院への搬送に使用されている。

○管内の医療機関から福島県立医科大学附属病院への転院搬送の際、**南相馬鹿島SIC～相馬間を利用し、相馬から東北中央道を利用した搬送が増加**している。

○24時間運用前は、夜間における鹿島区内からいわき市、仙台方面の医療機関までの搬送時間や新地町等への応援出動時の現場到着時間が日中よりかかっていた。24時間運用後は、**夜間における搬送時間の短縮、他の市町村への現場到着時間の短縮**が可能となった。

（南相馬消防本部鹿島分署）

南相馬鹿島SICの整備効果 【地域伝統文化の継承と観光振興】

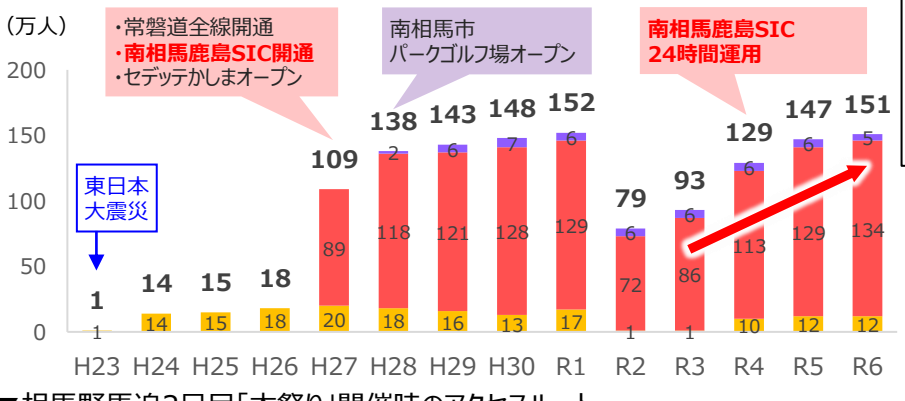
・相馬野馬追初日の鹿島区で開催される「総大将お迎え」の観覧者が、南相馬鹿島SICをアクセスルートとして利用している。
・相馬野馬追二日目の原町区で開催される「本祭り（神旗争奪戦など）」の観覧者が、混雑する南相馬ICや通行規制区間を回避するため、南相馬鹿島SICをアクセスルートとして利用している。
・南相馬市鹿島区の観光入込数は新型コロナウイルスにより一時減少したが、年々回復傾向にあり、南相馬鹿島SICの24時間運用による利便性向上が観光客入込数の増加の後押しになっている。

▼相馬野馬追開催時の南相馬鹿島SIC利用交通の行き先



出典：ETC2.0データ（野馬追開催時：R5.7.29～7.31）

▼南相馬鹿島SIC開通以降の観光入込客数の推移



**24時間運用後
年々増加**

※四捨五入により内訳と合計が一致しない場合がある。
※R2は新型コロナウイルスによる緊急事態宣言あり

出典：南相馬市

▼相馬野馬追2日目「本祭り」開催時のアクセスルート



○開催地に最寄りの南相馬IC周辺での混雑が予測されたことから、宮城県方面からの観光客を対象に南相馬鹿島SICを利用したアクセスルートを周知した。

○24時間運用によって早朝や夜間の移動が可能となり、観光客の混雑回避やスムーズな案内が可能となった。

○併設されているセデッテかしまはお土産の購入や食事ができることから、24時間運用によりさらに利便性が向上したことをPRしている。

（南相馬市）